

令和4年度

事業計画書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

公益財団法人光市文化振興財団

光市文化センター事業計画

光市文化センターは、昭和55年の開館以来、光市の特色を踏まえながら歴史、芸術、科学などの文化活動を通して、市民への文化交流の機会を提供し、市民の文化活動に対する理解と親しみを深めるための事業を展開してきた。しかしながら、一昨年度からの新型コロナウイルス感染拡大に伴う休館措置や感染拡大防止対策等によって、昨年度も当初計画していた文化事業の中止や施設利用による文化活動の自粛等により、文化芸術活動の場や機会の充実を十分に図ることができなかつた面がある。

今後も基本的な感染防止対策や新しい生活様式への行動変容を踏まえながら、令和4年度は文化センターの果たす役割や使命感を意識した活動を展開し、かつ本館のもつ機能を十分に活かしながら教育や文化の充実発展に寄与するとともに、「文化の創造は市民自らの手で」の趣旨のもと、引き続き地域文化の継承・発展に地道な努力を続けていく。また、文化活動の拠点として、造形活動の推進、歴史・民俗資料の調査・保存・啓発、自然科学分野の啓蒙等を行うとともに、下記の事業を実施し、地域に根ざした運営を目指す。

企画展では、第16回目となる「光市作家展」を実施し、市内の作家の紹介に努めながら造形活動に対する理解と普及を図る。さらに今年度は、レンタルアート展と光市ゆかりの画家展（仮称）を開催し、館蔵美術品・資料や寄贈された作品を市民に広く紹介することにより、市民の芸術活動に対する興味・関心を喚起するとともに、様々な分野の文化活動の底辺拡大を図っていく。

第18回目となる「光市美術展」では、広報活動を強化し、広く市民より多くの作品の募集に努めるとともに、美術を通じた交流を促進する。また、今年度で11回目を迎える市民参加の「わが家所蔵の美術品展」も引き続き実施する。

教育普及活動では、歴史講座として「成人大学講座」、夏休みに小学校4～6年生の児童を対象に「夏休み子ども陶芸教室」を引き続き開催する。また、令和元年度新規事業としてスタートした「ひかり歴史文化探検クイズラリー」を人物編として引き続き行い、郷土の歴史や史跡、有形文化財及び光市出身・光市にゆかりのある人物等を多くの市民に知ってもらうとともに、「光市の歴史文化」編纂後の具体的活用例とし取り組んでいく。さらには今年度、新たな事業として、小学校3年～6年生の児童を対象に「夏休み科学教室」を実施し、科学の楽しさや面白さを体験することで、科学への興味・関心を高めるとともに、子どもたちの科学する心や研究への意欲付けの一助としたい。

以上のような事業を推し進めていきながら、市民に愛され、地域に親しまれる施設を目指して邁進していきたい。

1 常設展示

(1) 美術展示室

企画展や貸館の合間にテーマを設定して展示を行い、できる限り多くの館蔵美術品や書画・写真等を市民に公開する。特に、近年寄贈されたものや未公開作品を中心に展示を行う。

(2) 歴史民俗展示室・自然史展示室

基本的には通史展示を踏襲するが、歴史的事象の節目や学校教育のカリキュラムに即した展示となるよう、歴史・民俗資料の選定、更新を行う。

2 企画展示

(1) 第41回濤美展 会期 4月 8日(金)～4月17日(日)

毎週木曜日に実施している絵画教室の作品展で、1年間の学習成果を発表し、これからの学習の励みとする。

(2) レンタルアート展 会期 4月 9日(土)～6月26日(日)

平成10年からスタートした「絵画貸出事業」で、アマチュアの描いた作品を光市民及び光市内の事業所等に貸し出しをする事業である。その一環として作品を展示し、絵画貸出事業の周知と利用促進を図り、生活や仕事の場に彩を与えるとともに、絵画に対する興味・関心を高めていくために実施する。また、今回のレンタルアート展では、これまでの作品に新たな作品を十数点加え展示する。

(3) 光市作家展 会期 6月11日(土)～6月26日(日)

作家として光市に深く関わりを持って活躍されている人の作品展を開催し、より多くの市民や美術愛好家にその作家の姿を知ってもらう。また、作品や人柄を通して、多くの人に影響を与えている作家の紹介は、造形活動を広めることになる。

今年度は、市内外でも活躍している洋画の「西岡康雄」氏と陶芸家の「田村潤子」氏を紹介する。

(4) 光市ゆかりの画家展(仮称) 会期 7月 9日(土)～9月18日(日)

文化センターでは、郷土(光市、山口県)にゆかりのある美術作家の作品を長年にわたって収集してきた。今回の展示会では光市出身及び光市にゆかりのある画家に焦点をあて、光市三大画家の難波覃庵・巖島虹石・宝迫虹汀をはじめ吉崎正巳、松田正平などの作品を中心に展示する。この画家展をとおして、郷土出身及びゆかりの画家を市民に広く紹介するとともに、絵画に対する興味関心を喚起し、芸術活動への意欲の高揚と底辺の拡大を図る。

(5) 第18回光市美術展 会期 10月25日(火)～11月6日(日)

市民参加の公募展として、光市をはじめ光市教育委員会、光文化協会、当財団が一体

となり実施する。会期は、部門別に前期、後期に分けて実施する。

平成29年度から、大賞受賞作家の更なる活躍と創作の支援を目的に、大賞受賞作を購入し、常設で公開し顕彰する。

(6) 文化センター水彩画教室展 会期 2月

隔週日曜日に実施している水彩画教室の作品展で、一年間の学習成果を発表し、これからの学習の励みとする。

(7) わが家所蔵の美術品展 会期 3月

家庭や事業所などにある愛蔵・秘蔵品を持ち寄り公開することで、個人コレクションを広く市民に鑑賞してもらうとともに、市民同士の文化交流の一助とする。また、貴重な作品が将来にわたって継承され、後世まで語り継がれていく機会とする。

3 教育普及活動

(1) 成人大学講座

郷土山口県、光市に関わりのある人物、歴史に関する内容を中心に、教養講座を開催する。定員45人とし、年間7講座で、受講料は年間1,500円とする。

※令和元年度から当財団の経費で実施している。

講義内容	講師	開催日
俳諧の巨匠長州に行く ～旅から旅へ五七五～	梅光学院大学 教授 倉本 昭	5月21日(土)
私を感じるみすゞさん	金子みすゞ記念館 学芸員 宇野 智 香	6月18日(土)
江戸時代武家社会における乳 母～萩藩毛利家を中心に～	山口大学 准教授 石 田 俊	7月16日(土)
旧都農宰判及び旧熊毛宰判内 の神社本殿建築について	徳山工業高等専門学校 准教授 中 川 明 子	8月20日(土)
石城山の歴史遺産	光市教育委員会 学芸員 河 原 剛	9月17日(土)
光市塩田地区の仏教に拘わる 遺跡とそれらの信仰について	光地方史研究会 副会長 高 橋 教 信	11月19日(土)
関ヶ原の合戦後の毛利一族	下関市立歴史博物館 学芸員 松 田 和 也	12月17日(土)

(2) 絵画教室

基礎的な知識、技術を身に付けた成人を対象に、デッサン、油彩画の実技指導により技量の向上を図る。会員数40人程度を限度に、希望者は随時入会を受け付ける。

講師 河村純一郎先生（洋画家、行動美術協会会員、周南市在住）

開催日 毎週木曜日

(3) 水彩画教室

初心者を対象に絵画の基礎から指導し、絵画人口の底辺を拡大する。会員数40人程度を限度に、希望者は随時入会を受け付ける。

講師 岡村 毅先生（創美会会員）

開催日 毎月第1、第3日曜日

(4) 彫塑教室

造形活動の中で、立体分野における発展を願って実施する。立体造形に関する基礎的な知識と、創造的スキルを修得してもらい普及していく。会員は20人を限度とし、希望者は随時入会を受け付ける。

代表 下川正孝

開催日 毎月第2、第4土曜日

(5) 湯呑みづくりの会

陶芸による湯呑み作りや、茶道用具制作の基本技術の習得及び現代的な陶芸作品作りを目指し、この会を自主的な同好会の一翼として発展させる。会員は、15人を限度として希望者は随時入会を受け付ける。

講師 村山嘉憲先生（陶芸作家）

開催日 毎月第1、第3水曜日

(6) 夏休み子ども科学教室

小学校3～6年の児童を対象に、科学実験や物づくりを通して、科学への興味・関心を高めさせ、自然に関する理解を深めるとともに、子どもたちの科学する心や研究への意欲付けの機会とする。併せて自ら学び自ら考える力や創造性の基礎となる力を育ませていきたい。

講師 奥屋隆伸先生

開催日 7月23日（土）

定員 20人

(7) 夏休み子ども陶芸教室

小学校4～6年の児童を対象に、「湯呑みづくりの会」の協力を得て、発達段階に応じた焼き物作りを体験させる。この教室での活動をとおして、造形に対する興味・関心を高め、併せて当館の活動に目を向けさせていく。

講 師 湯呑みづくりの会

開催日 7月24日(日)、8月6日(土)

定 員 30人 参加費 500円

(8) 小学生の社会科見学や中学生の職場体験・総合的な学習への対応

各学校の教育活動に即応した資料収集及び展示を行い、社会科見学や総合的な学習のプログラムを充実させるとともに、学校教育現場との連携を図っていく。

(9) ひかり歴史探検クイズラリー人物編

光市には、貴重な史跡、有形文化財が数多くあり、偉大な人物も多く輩出している。これらの史跡、有形文化財、文化施設及び光市出身・光市にゆかりのある人物を多くの市民の皆さん知ってもらうとともに、「光市の歴史文化」編纂後の具体的活用例としていく。具体的には、参加者にマップとクイズ帳を配り、クイズラリー形式で文化財、史跡、資料館（伊藤公資料館、ふるさと郷土館、光市文化センター）等を巡ってもらう。指定された32箇所（紹介人物32人含む）の内、16箇所以上を廻り、クイズに10問以上正解すれば修了とする。

対象者：誰でも参加可能。ただし、小学生以下は保護者が必ず同伴で廻ること。

期 間：7月7日(木)から11月13日(日)

修了者：記念品を贈呈

4 絵画貸出事業

新しい作品を含めたレンタルアート展を開催したり、財団の情報誌『虹』や当館のホームページ、市広報等により、鑑賞機会の増加と広報活動を積極的に行い利用者の拡大を図る。

5 資料収集活動

(1) 美術資料の収集

光市ゆかりの物故作家の作品を収集し、館蔵美術品の充実を図る。

(2) 歴史・民俗資料の収集

6 資料の整理

- (1) 長年に渡る資料収集活動からくる慢性的な収蔵場所の不足や、新たに収集する資料の収蔵場所を確保するため、民俗資料保存の基本ルールの作成や収蔵庫の保管棚の改修を検討する。
- (2) 平成28年度から進めている清水家文書、難波家文書の解読作業を、郷土史家の協力を得て継続するとともに、解読した古文書の編集・冊子化に向けて取り組んでいく。

7 市民の文化活動等への協力

- (1) 文化活動の発表や学習の場を提供し、市民サービスに努める。
- (2) 学校現場等へ学習教材として館蔵資料を提供する。

光市民ホール事業計画

光市民ホールは、開館以来、市民文化活動、芸術文化・舞台芸術の中核・拠点施設、並びに市民の集会場として、光文化協会等の関係機関・団体との連携により、市民夏季大学をはじめ、音楽、演劇、伝統芸能などの各種文化関係事業及び貸館事業を実施してきた。

しかし、近年、新型コロナウイルスの感染拡大による社会環境の変化により、市民ニーズは大きく変容しているが、市民の自主的な芸術文化活動の拠点として、果たすべき役割は大きいものがあると考えます。

このような状況から、多様化・高度化が進む市民のニーズに的確に対応し、市民文化の向上に向けた優れた芸術文化の鑑賞機会を提供するため、新型コロナウイルスに対する感染防止対策を徹底し、下記事業を実施する。

1 自主文化事業

(1) 第50回市民夏季大学

市民夏季大学は、昭和47年の市民ホール開館以来の恒例行事として、市民の間に広く定着している。近年の社会環境の変化により、受講年齢層、受講人数等が変化していく中で、多様化する市民の学習ニーズに対応する学習機会を提供するために、各界で活躍している話題性が高く集客力のある著名人を講師として招く。

講師のキャリア、経験や体験談等を直接見聞し、その成果や教訓、幅広い識見からの考え方や含蓄のある人生論等を学ぶ市民教養講座、生涯学習講座として開催する。

第1講座 辻井イツ子（ピアニスト辻井伸行の母）

日時 7月12日（金）

演題 明るく、楽しく、そしてあきらめない生き方

第2講座 山田ルイ53世（お笑い芸人「髭男爵」）

日時 7月20日（水）

演題 僕達にはキラキラする義務などない

第3講座 齋藤 孝（明治大学文学部教授）

日時 8月10日（水）

演題 齋藤孝流・コロナに負けない「友だち関係」の作り方

会場 大ホール

(2) その他自主文化事業

ア 第6回ストリートダンスフェスティバルin光

日時 4月3日（日）

会場 大ホール

内容 中学校保健体育でのダンスの必修化に伴い、ストリートダンスを学ぶ児童や生徒が増加し、市民の関心も高くなっていることから、ダンスを学ぶ児童や生徒を対象に、日頃の活動や練習の成果を発表する機会を提供する。

イ スタインウェイピアノ開放事業

第14回ピアノマラソン みんなで弾こうスタインウェイ！

日時 5月14日(土)・15日(日)

会場 大ホール

内容 初心者から高齢者まで幅広い層を対象に、市民ホールが所有する世界的に有名なピアノ「スタインウェイ」に触れる機会をつくり、世界の名器を使用したステージ演奏の場を提供する。

ウ 精華女子高等学校吹奏楽部コンサート

日時 5月29日(日)

会場 光市総合体育館(メインアリーナ)

内容 高校吹奏楽部の国内最高峰といわれる精華女子高校吹奏楽部を招聘して吹奏楽コンサートを開催する。今年度は会場を光市総合体育館とし、マーチングパレードを主体とした演奏会を開催する。

エ 小学校音楽(学校引率)

ソレイユトリオコンサート 音楽とお話で聴く「竹取物語」

日時 6月9日(木)

会場 大ホール

対象 市内小学校5・6年生

内容 次代を担う小学生の情操教育の充実及び芸術文化学習の推進を図るため、市内の小学校5・6年生に本物の舞台芸術の鑑賞機会を提供する。

今年度は県内を中心に演奏活動を行っているソレイユトリオを招き、フルート、ヴァイオリン、ピアノの演奏に合わせた演劇「竹取物語」を鑑賞する。

オ 桂かい枝(落語)・神田京子(講談)二人会(会員招待公演)

日時 6月12日(日)

会場 大ホール

内容 光の文化を高める会の会員招待公演として、上方落語「桂かい枝」とテレビなどで活躍中の女流講談師「神田京子」の二人会を開催する。

(会員以外是有料)

カ 財津和夫 トークと歌のプレゼント（振替公演）

日時 8月7日（日）※予定

会場 大ホール

内容 数々のヒット曲を発表し、現在も作曲家として楽曲提供、アーティストプロデュースなど幅広い分野で活躍中の「財津和夫」のトークショーとコンサートを開催する。

キ 朗読劇「青空」

日時 8月20日（土）

会場 大ホール

内容 榎田正剛の作、演出の朗読劇「青空」を、テレビ、映画などで活躍中の4人のキャストが演じる朗読劇を開催する。飯島直子、モロ師岡など4人が出演予定。

ク 古典芸能公演

日時 9月4日（日）

会場 小ホール

内容 落語、講談などの優れた古典芸能の鑑賞会を、市内の落語愛好グループ「光がんざき亭」との共催で開催する。

ケ 第35回市民コンサート

日時 9月11日（日）

会場 大ホール

内容 音楽を愛する個人や団体が一堂に会し、日ごろの活動や練習の成果を発表することにより、互いの技量の向上を図るとともに、市民に優れた音楽の鑑賞機会を提供する。出演する児童・生徒については、今後の活躍と飛躍を期す機会とする。

コ フォークコンサート“元気でしたか？”2022

日時 10月16日（日）

会場 大ホール

内容 吉田拓郎、井上陽水、かぐや姫の名曲カバーで人気のグループ「永谷青空とクロスリバー」によるフォークコンサートを「クロスリバー」との共催で開催する。

サ 第35回うたごえ喫茶

日時 10月30日（日）

会場 小ホール

内容 昭和時代から根強い人気のある「うたごえ喫茶」を開催する。生バンドの伴奏にあわせ、懐かしい名曲の数々を参加者が思う存分歌える場を提供する。

シ 優秀映画鑑賞会

第6回光市民ホール名画劇場

時期 日程調整中（2月予定）

会場 小ホール

内容 優れた映画の鑑賞の機会を提供するため、文化庁及び国立映画アーカイブにより実施される優秀映画鑑賞推進事業を誘致し、廉価な入場料による映画鑑賞会を開催する。

ス 第8回 アラ還フェスティバルin光

日時 3月5日（日）

会場 大ホール

内容 市内及び周辺地域で演奏活動を行っている、概ね還暦世代の音楽愛好バンドに演奏の場を提供する。

2 施設・設備の整備

来館者の安全を確保し、快適な施設環境を維持するため、定期的な機器等の更新に加えて、建築後50年が経過した施設・設備の経年劣化箇所についても、光市教育委員会と協議しながら改修・更新を行う。

3 市民文化意識の高揚と文化事業の広報

- (1) 財団友の会（通称：光の文化を高める会）の会員の増加を図るとともに、会員向けの広報活動の推進に努める。
- (2) 財団情報誌『虹』やホームページ及びフSNS等を活用し、各種自主文化事業の周知を図る。
- (3) 各報道機関への情報提供に努める。

4 貸館業務

指定管理者としての認識のもと、舞台芸術や市民文化活動の拠点施設として、地域に根ざした使いやすい施設の維持、管理に努める。

光ふるさと郷土館事業計画

光ふるさと郷土館は、港町室積の商家の建物を活かした伝統文化の継承とふるさとの歴史・文化の発掘、資料の収集・展示を行うとともに、地域の活性化を図るため、光市の観光や地域文化の創造・発表の場として特色ある運営をめざす。

1 常設展示

江戸時代以降、室積に寄港していた北前船に関する資料、醤油の醸造道具や漁具、商家の帳場の展示などをおして、当時の室積の果たしていた役割や人々の生活、文化などを紹介する。

2 ギャラリー展示

	展 示 者	期 間
1	宮原博美（写真展）	5月3日（火） ～5月15日（日）
2	小田敏子（パッチワーク展～母の手のぬくもり～）	6月8日（水） ～6月19日（日）
2	光ふるさと郷土館（五感で感じる郷土の夏）	7月16日（土） ～8月31日（水）
3	光市室積山車保存会（室積秋まつり展）※休憩室での開催	10月1日（土） ～10月9日（日）
4	坪井玲子（書に集う仲間展）	11月3日（木・祝） ～11月20日（日）
5	光ふるさと郷土館（竹取物語の世界）	2月4日（土） ～3月12日（日）

3 イベント等

- (1) 郷土館端午の節句 4月16日（土）～5月5日（祝・木）
- (2) 普賢まつりの開館時間延長 5月14日（土）※19時まで開館延長
- (3) 五感で感じる郷土の夏 7月16日（土）～8月31日（水）
- (4) サメの歯展示（県漁業光支店所蔵） 7月16日（土）～8月31日（水）
- (5) 秋の夜長と邦楽の夕べ（邦楽虹の会） 9月17日（土）19時～20時30分

- (6) 早長八幡宮秋まつりの開館時間延長 10月 9日(日) ※19時まで開館延長
- (7) Christmas 音楽会in醬油蔵2022 12月 4日(日) 14時～15時
- (8) 郷土館のひなまつり 2月 4日(土)～3月12日(日)

4 教育普及活動

(1) 古文書講座

毎月、光市関係の古文書を中心とした解説講座を開催

(2) 小中学校の社会科見学や総合学習への対応

学校の教育活動に対応した資料の収集及び道具を使って学ぶ体験学習を中心とした見学内容と説明

(3) 講座や教室の開催

ア 歴史講座

(ア) 郷土史を中心とした教養講座 10月 2日(日) 10時～12時

(イ) 古文書の会 10月23日(日) 10時～12時

イ 体験教室

(ア) 竹プランター作り 5月22日(日)

(イ) 古着で作るはがき掛け 6月19日(日)

(ウ) 藍染体験 7月31日(日)

8月7日(日) 【予備日】

(エ) 親子で作る竹細工 7月24日(日)

(オ) 親子で作る水鉄砲・竹とんぼ① 8月13日(土)

(カ) 親子で作る水鉄砲・竹とんぼ② 8月14日(日)

(キ) 電子工作とプログラミング教室

「オルゴール作り」 10月8日(土) (仮)

(ク) 竹で作る干支・卯 11月27日(日)

(ケ) ミニ門松作り 12月18日(日)

5 その他

- (1) 休憩室などを利用したミニ展示
- (2) 地域観光の拠点施設としてマスコミ・地域の関連団体との連携や情報交換
- (3) ギャラリー展示者の発掘及び生涯学習の推進
- (4) 貸し部屋の利用促進
- (5) 郷土館運営懇話会の開催